



# 上海

Vol. X. No. 484 THE SHANGHAI, JAPANESE WEEKLY

發行所 上海海路拾四號  
春申社  
電話四七〇五番  
振替口座 上海四七〇五番

### 目次

對支政策變更 一  
 政敵の具たる舊國會問題 二  
 西府の情勢 三  
 吳佩孚の暴言 四  
 支那の種族(一) 五  
 支那の種族(二) 六  
 修改稅則委員會 七  
 警察善後 八  
 人事往來 九  
 經濟記事 十  
 漢字新聞論 十一  
 新刊紹介 十二  
 公人私入 十三  
 編輯餘錄 十四

## 對支政策變更

東京からの報道は奉直戰爭の結果 吳佩孚の勢力俄かに増大し隨つて吳佩孚を背景とする北京政府も有力なる地位を占むるに至りこの點より見れば支那の鞏固なる政府を樹立するの好機會到來せるものと認めらるるを以て在支日英米佛四國公使間に斯かの機を逸せず支那をして鞏固なる中央政府を樹立せしむる様勸告を發し且つ之に必要なる財政その他の適當なる援助を與ふる事の可否に關し右四國公使より各本國政府に建言する事となり小幡公使よりこの旨報告し且つ請訓し來つたと傳へてゐる、右の請訓に對し我外務省は列國との協調を破らぬ見地からこれに賛成を表したとせうであるが斯かる重大なる問題と言ふ迄もなく極めて慎重に考慮を費すべきものであつて外務省が單に列國との協調を保つ上に於て敢て輕々し之に賛成を表したものであるとすれば是は少なくとも支那の大勢を速断し過ぎたものであつてこれが爲めその會て骨めたる苦き經驗を

繰り返すことを思はぬものである、外交は素より臨機處置を貴しとするものであるから不干渉主義から干渉主義に移つたと又局外中立から積極援助に乗替へたと我々は決してこれに兎角の批評を加へるものではない、然れども若し外務省の判断は再び取り返しを誤りこの形勢を誘致した場合のことも杞憂せねばならぬ、日本政府としては四國公使の請訓に答ふるに當つて素より慎重の考慮を拂つたであらう、又十分に支那政局の將來も見極めたであらう、而して確かに吳佩孚を最有力者として認めたであらう、併し一面には英米の感情を害しては悪い

これを以て日本の張作霖援助説を抹殺するといふやうなことが多少でも當局の悩ましいに因つたことか多少でも出來まい、我々が今斯様な憶説を退ふするは會つて奉直戰爭開始の當初から外務省の若手連の頭が陸軍とは全く相反する傾向の下に動いてゐたといふ事を聞き及んでゐるからである、即ち奉直戰爭の結果は外務省側の豫想通りには結着した、有體に云へば外務省は英米の提議に率先して賛成するだけの素地が十分出來てゐたのである

四國公使の請訓に對し我が國の輿論は對人主義の非を鳴らし或は一部軍閥援助の永遠の平和を齎す所以である、我々は敢て之等の批評に迎合して云ふのではない、我々の主張は偶々輿論と一致し否それ以上この結果を憂慮するものがあるからであらう、四國公使の請訓の如く四國の財政援助より鞏固なる政府が樹立されれば數年來の内亂が鎮定され南北統一が實現されるなら此上もない事であ

ある、併し斯様なことは事實に於て容易に望まれない、政治借款を起すにした處で相當の日金を要すだらう而してそれ迄に政局は如何に變轉するかも知れない、一步を進めて云へば吳佩孚の勢力が果して能くそれ迄保ち得るか否かさへ疑問である、又退いて列國が積極的の援助を與へたら或は形だけの政府は出來たらう、それが果して永遠に支那を統一する政府であり得るか否か、吳佩孚は軍閥である、武力主義者であらう、然るに現今の支那はどうか、各省實業界の間に澎湃として漲つてゐるではないか、軍閥を背景として政府が此の時代思潮に順應して能く民心を收攬し得るか、吳佩孚を後盾とする政府ならばその開員が如何なる頭の程度のものか、大抵想像がつく、現代の民衆が能くこの保守的政府に甘んずるかどうか、政府がどうであらうとも國體がどうであらうとも衣食にさへ不自由しなければ支那人は凡てに満足するといふ言葉は或は一面の眞理であるかも知れない、我々には少くも信ずるには餘りに現代支那人を知り過ぎてゐる、我々は吳佩孚が排日論者であるか否かに私の感情を挿むるのではない、又彼れの政治的手腕を疑ふものでもない、然し時代は北洋正統を口にする如き彼を笑つてゐる、支那の輿論は云ふ支那國民は敢て勝者歡迎主義者にあらず、列國は速断して、侮を貽す勿れ、放任せよ、而して合法政府の成立に待てど、我々は只列國が徒らに支那の統一を望むこと急にして之が破壊に導かる、日の却つて早きに想到せざるを憂ふるのみである

(身水)

### 資本金 壹億圓拂込済

### 積立金 六千壹百萬圓

本店 横濱  
 支店 東京、神戸、大阪、名古屋、長崎、下關、倫敦、里昂、漢堡、シドニー、紐育、香港、ロンドン、カルカッタ、孟買、新加坡、マニラ、宿務、西貢、香港、青島、濟南府、漢口、天津、北京、牛莊、大連、奉天、開原、長春、哈爾濱、瀋陽、德惠、バタビヤ、スラバヤ、スマタラヤ、アライ、リオデジャネイロ

上海黃浦灘路三十一號

横濱正金銀行

支配人 席三六〇  
 支店長 席六九六  
 電話 送金係 二七二  
 預入係 三〇二  
 輸出係 三三三  
 預納係 三三三

上海黃浦灘路拾六號

### 臺灣銀行

支配人 柳田直吉  
 支店長 席一三三  
 電話 輸出係 二一六  
 預金、送金係 三、四八〇  
 丁客専用 三、四八一  
 買辦部 二、八四一





之により徐世昌は辭職を決心せること明白なれるが徐は其翌二日辭職の總統令を出し同日午後家族と共に天津に落ち弟世章宅に入れり、之を以て支那統一の大障礙とせられし徐世昌も遂に總統の地位を去りたることとなりたれども、此一幕が彼をして支那政局より全然術策の影をひそめしめしものとは遂に斷すべからず彼及び彼の一派並に彼の術策は支那政潮の一暗礁として今後も依然たる政界の一黒點たるは牢記せざるべからず

### 四國對支政策

華府會議以來支那に對する列國の態度は以前と截然趣きを異にし支那に取て又東亞平和維持の爲め詢に喜ばしき現象なり、華府會議以前は盛んに支那に對する列國共同協政の聲言しかりしが同會の愈開くや一言も此事に言及せず、遂に九國條約を結ぶに至り剩さへ支那に於ける列國の優先權撤回も成り條件付ながら治外法權撤廢駐支列國軍隊撤去をも見るに至りしに、支那の履行に大成功とせられ同時に支那の取り如何が危なれたり、然るに華府會議終一後間もなく、奉直戰爭開らるれ、支那政局大に紛糾せるを以て、殊に支那は危なれたり、支那が危なれつゝある間に不徹底ながら吳佩孚の戰勝を見るや豫めに吳佩孚の行動に最も贊同し、常に吳の爲め計るに忠なりし英米は、吳佩孚の舊國會恢復を利用し、內政客青年に譽を求め外列國の同情を得ることし大に天下の人心を博せんが圖り、一種新風向を來せる感を催ふさしめたり、斯くして統一の大障礙物に實に徐世昌なり之を除けば天下立ろに成るものゝ如く宣傳せられ、茲に豫ねて

友と好き英米人の心を動かし、食不飽腹の野心曝露にして、我日本の大不義なき善く又之に必要なりと列國が指は吳に向ひ英米佛公使は小幡公使の歸任を待ちて以て吳佩孚を援助漢口日本軍隊撤兵の如きは、當時とて之を中心勢力として、統一を具せしむるの可なるを説きしもの、如く、日本帝國は爲めに英米人に動かされ、遂に吳佩孚を以て英米人觀念を重く見るの弊を再びするの已むなき破目に至れるに似たり、之に就き四國對支政策なるもの、内容を窺ふに其言や一見堂々たるが如きも、實は吳佩孚に魅せられたるものにして、吳佩孚崇拜の英米人の交渉を受けて、其外務務が冒然之に賛成したりとせば、其不見識も又甚だしと云はざるべからず

抑も日本は一黨一派に囚れたること即ち段祺瑞派に誤られたるが爲め由來專ら嚴正に中立し全然干渉せざる態度を示し、殊に日本と關係ある張作霖に對して大に公平を保ち私情に囚はれず、漸く中外の信用を博し政友會の對內政策は汚穢極まり、度すべからざりしかども、對支政策に至りては、正直に内閣成立當時より其の政策を固守せりとして大に喜び居りしに、今や外務務は英米人に乗せられ、又も對人觀念よりする寺内内閣時代の失敗を重ねんとす吳佩孚の將來に見當付くとするか、術策は渾身と云はる、徐世昌は此まよにして終るか、張作霖は果して内閣の爲め全然倒るか、此邊は到底測斷すべからず、支那全體より云へば四國が云ふ如く、固より強有力の政府を欲するは當然なり、然れども未だ眞の時は尙解決ならざる前に、吳佩孚に援助を與ふるに不當なり、不公正なり、支那全體の希望は健全なる中央政府の確立後に於て、列國の援助を求むるに在り、此際列國が山を見ざる獵者の如く、吳佩孚に心酔するは

彼等の野心曝露にして、我日本の大不義なき善く又之に必要なりと列國が不見識曝露なり、北支那駐屯撤兵、漢口日本軍隊撤兵の如きは、當時とて之を中心勢力として、統一を具せしむるの可なるを説きしもの、如く、日本帝國は爲めに英米人に動かされ、遂に吳佩孚を以て英米人觀念を重く見るの弊を再びするの已むなき破目に至れるに似たり、之に就き四國對支政策なるもの、内容を窺ふに其言や一見堂々たるが如きも、實は吳佩孚に魅せられたるものにして、吳佩孚崇拜の英米人の交渉を受けて、其外務務が冒然之に賛成したりとせば、其不見識も又甚だしと云はざるべからず

最近奉直戰爭の結果吳佩孚の勢力遠かに増大し隨つて吳佩孚を背景とする北京政府も有力なる地位を占むるに至り此の點より見て支那に鞏固なる政府を樹立するの好機會到來せるものと認めらるゝを以て在支日英米佛四國公使間に機を逸せず支那の援助を切に願ひ度し若し自分の日本に對する態度心事等に誤解あらば是非之を氷釋せられ度しと繰返し公言したるやにて從來一部に屢々傳へられたる吳が極端なる排日論者なりとの説は全く爲めにする者と言はれて決して吳の真意に非ざるは明かなり、吳の如き多智多才の人物にして支那統一の大望を抱き乍ら最も緊切なる關係に在る隣國を好んで敵とすべき事はありうべからざるなり、又英米が吳佩孚を援助し日本に當りつゝありと言ふ時時事實無根にして現許崇智軍は第七旅と第一師と協力激戰して敵の死傷數百、小銃三百、大砲五百、機關銃十餘挺、彈藥百箱を擲獲せり、中略を占領せる後一部は二十六日朝南を占領せしめ、同方面を信豐の後方に迂回せしめ、同方面の敵を包圍中なりと報せり、又た後

中華新報(一日)  
四國對支政策に就き友邦に告げざるべからざるものありとて、明かに徐世昌を統一障礙物たりと爲し左四項を説けり  
一、我國は速かに統一政府を組織すべく、各友邦は此政府に對して援助すべし  
二、統一政府建設の時機は已に到れり、第一期國會施行の職權に即して辭職を請ふて未だ許されざる黎總統の地位を復するは法理上當然なり而して事實上苟くも武力統一を非とす南北平和解決も亦只此一途あるのみ  
三、各國は我に鞏固なる政府建設を勸告するも、是れ徐東海の政府に望む能はず、蓋し徐東海は統一する能はず、即ち鞏固なる能はず然らざる若し此に漫然與ゆるに財政の援助を以てせば事實上益なくして害あり  
四、各國は對人觀念を放棄すべし各猜忌の心を罷すべし、尤も一部分を操縱する政略を嚴禁すべし、而して果して支那を扶助せんと欲せば、速かに我が平和方法を用ゆる統一合法政府の成立を助くべしと論じ居れり

上海廣東路九號  
資本金 五千萬圓  
拂込濟參千萬圓

株式三菱銀行  
支店 東京 九之内 深川 日本橋  
支店 大阪 中ノ島 船場 神戸 京都 名古屋 倫敦 紐約

營 石炭、紙、硝子、砂糖、セ  
業 メント、雜穀肥料、油  
種 脂、金屬及機械類、其  
目 他一般雜貨

西南の情勢  
北伐軍の進攻  
地方の援贖軍  
北伐軍其後の戰況は、五月二十七日昭關大木營發電報によれば二十五日信豐附近新崇の戰爭に於て(右翼許崇智軍)は第七旅と第一師と協力激戰して敵の死傷數百、小銃三百、大砲五百、機關銃十餘挺、彈藥百箱を擲獲せり、中略を占領せる後一部は二十六日朝南を占領せしめ、同方面を信豐の後方に迂回せしめ、同方面の敵を包圍中なりと報せり、又た後

三菱公司  
支店長室 中二九六〇  
庶務係 中三三五六  
石炭船係 中三三五六  
雜穀肥料係 中四〇四七  
話 中三三七八  
金銀雜貨係 中三三七八  
支店及 東京 本館  
東京 横濱 名古屋 大阪 神戸 門司  
若松 長崎 唐津 小樽 青森 函館 室  
蘭丸 敦賀 津 上海 漢口 香港  
大連 天津 青島 シンガポール 仰光  
パナマ 伯利 倫敦 紐約 上海

報によれば中、演習軍は二十六日朝  
右翼許崇智軍の主力及び滇贛軍の一  
個聯隊は信豐附近に踏み止まり、陳  
光遠部下二萬餘の集團に對し攻勢を  
執り南方は騎馬場より西方は烏鹿寨  
より包圍攻撃を續行中なり

云へり、更に二十九日始與出發  
廣東に歸來せる東方通信員の談及  
及び三十日韶關大本營發同社專電の要  
點を綜合せば二十八九兩日の戰況は  
左の如きのなり

▲左翼 黃大偉軍の主力は二十八日  
崇義縣を占領せり

▲右翼 信豐縣に勢力を挽回せる陳  
光遠軍一萬餘は南軍に對し頑強に  
抵抗を試みたが、二十八日南軍  
は新廟、十里舖の諸縣を奪取して  
大砲四門、機關銃七銃、小銃五百  
十を分捕ると共に、新城を攻略し  
右翼軍の一部が信豐の後方に迫  
らんとする形勢を觀望し、北軍は  
二十九日午前遂に信豐を捨て贛州  
に向ひ退却を開始し、南軍は進ん  
で信豐を占領直ち追撃に移れり

▲中央 南安縣を占領せる滇贛軍は  
右翼軍と共に新城方面の殘敵を  
掃蕩し南康に向つて進撃中なるが  
沿道にて多數の俘虜を得たり  
尙ほ北軍某旅長より、二十九日代  
表を孫文の許に派し來り降服條件  
を協議し會見二時間に亘れり

右の情報によりて江西侵入を企て  
たる北伐軍は左翼は崇義縣、右翼は  
信豐縣、中央は南安を占領したるこ  
とは確實にして遅々たるも雖も最初  
の計畫通り進行し居れる模様なり  
是れより先き北伐軍が廿四日より江  
西に對する本攻撃を開始し、北伐軍  
が廣東江西兩省境の天險大庾嶺を突  
破するや北京政府就中直轄軍にても

江西應援をなすことに決し令を以て  
第一師長蔡成勳を援贛軍總司令に任  
する命發表せられたり、今江西省  
内の兵力を見れば

近畿第二師 師長 陳光遠  
近畿第九混成旅 旅長 岳光燾  
第三混成旅 旅長 劉玉麟  
江西第一混成旅 旅長 張玉麟  
鄂部下 鄂部下

此外江蘇第十九師楊春普の一混成  
旅及び安徽第二混成旅、楊德  
春)にして約一師六混成旅の兵力な  
るが今同之が救援をなす援贛軍の軍  
事計畫は次の如し

一、援贛軍司令部、袁州或は贛州に置き贛  
南贛東の兩路に對す  
二、贛軍の總隊を先づ五師とす  
一、中央後援軍、蔡廷幹自一師を率ひ又  
併せて河南軍常成旅の一師を率ひ又  
一、第一路、齊齊元の江蘇軍一師を充つ  
二、第二路、贛南南の派遣せる一師を充つ或  
は沈鴻英の率ひし軍を以てせんが  
三、第三路、田中玉の山東軍の一師を充つ或  
は張光遠及び潘鴻鈞の率ひし軍を以てせんが

右の如くして約五師の兵力を以て  
救援すべく、又軍需品彈藥等に就き  
の計畫は軍費三百萬元は中央擔任  
し百萬元は某使之を擔任し彈丸は漢  
陽及び德州の兩兵器廠にて供給し  
事となり、又既に湖北省に合して小  
銃五千挺小銃彈三萬發砲彈二萬發及  
び機關銃二銃を九江に發送せしめた  
り

廣東内部の不安  
孫文が朱卓文を廣東兵工廠長に任  
命せるに對し前兵工廠長陳永善は公  
然新聞紙上に於て「余は陳總司令の  
命令を受け廣東兵工廠長たり、陳氏  
の命令無くしては何人も兵工廠の事  
務物品を左右する事を得ず」と廣告  
し又鐘景棠は省長伍廷芳其他に對し  
て今次旋凱兵士には毎月廣東省銀行  
紙幣十元の給與を與ふる事となり  
れど該紙幣は僅に六割に通用し尙  
日々下落の傾きあり、此の儘に進ま  
ば商人は、造幣局は銀貨鑄造に依り  
恐れあり、省銀行の利益あり從來之を  
毎日三四萬元の利益あり從來之を  
省立銀行紙幣の兌換に使用せしを今  
や之を停止せりと聞く、此の金の用  
途如何は省長宜しく幣制及び軍心維  
持に盡力すべきなり」と通電する等  
發露せるもの認めらる

廣東に於ける孫文の人氣は斯く下  
落したるが一方陳炯明部下葉舉等の  
意氣旺盛にして孫文に對し陳炯明の  
廣東軍總司令の職を恢復すべしと要  
求し廣州省城の東、西、北の三方面  
に駐兵し兵工廠も楊坤如の手に收め  
態度頗る強硬なるより、孫も大に憂  
慮し彼等を鎮撫する意味に於て二十  
七日八日帥令を以て陳炯明を辦理兩  
廣軍務に任命したり 然れども葉等  
は之を以て満足せず、孫軍の武裝し  
て通過するを許さざるが爲め粵漢鐵  
道の軍事停車場なる新龍站に大軍を  
駐屯せしめ威を示し居れるが孫文  
も之に對戦し海軍を後盾に恃み連日  
海軍艦隊總司令温樹德、陳策、馬伯麟  
等と頻りに暗號電報を往來せし居  
れり、形勢斯の如くなるを以て孫文  
は陳炯明を説き付け其の部下の意を  
柔らげんが爲め王精衛、程潛等を惠

州に派遣したるも陳は廣州に出で來  
ることを肯んせず、孫及び孫憲に對  
する惡感は去り難きものあり、惠州  
に赴きて廣州に歸來せる馬青船は王  
精衛等が陳炯明に廣州に來らんこと  
を勸めたるに對し陳は左の如く談れ  
り云へり

去年廣西討伐の爲め軍費六百萬  
元を支出したるが其結果は廣西人を  
して家散し人心ひたひたのみにて  
得ること失ふことなるを償はず、  
今復之を棄て、土匪地に滿てり我  
は實に以て廣西人の面目あつて諸  
君に我に勸むるも何の面目あつて廣  
州に回らんや、我と孫文と政見相  
違し孫が我を罵るは我怪しむ  
るも最も痛むるものは本黨の機關新  
聞が我桂林軍隊に軍費を接濟せざ  
りしと攻撃することとなり、査する  
に桂林出發の時軍費八十萬元を支  
給し福軍に十萬元許軍に二十萬元  
を支給し、別に毎月の軍費を支給  
し桂林より軍隊引揚げの際も尙二  
十萬元を支出し又省銀行より二百  
萬元を對撥せり、何等の接濟をな  
さずとは以ての外なり云々

陳炯明が斯く心解けざる間は廣東  
内部の不安は依然たり、加之ならず  
廣西省は今や全然陸榮廷舊部下の掌  
握に歸し、天津、保定間を往來し  
ある陸榮廷は未だ歸來に歸らざる  
も陸と曹錕間には既に充分の諒解  
あり、徐總統も陸の請ひにより、林  
虎馬濟を將軍府將軍に任することを  
承諾したりと傳へられ事實は北方よ  
り廣西を指揮し居れりとも言ひ得る  
状態にあれば孫文は目下チレンマの  
境にありといふべし

孫心が先決  
舊國會恢復、黎復位よりも、其良  
心恢復が先決なり、強硬なる政府樹  
立よりも、其樹立者の良心樹立が先  
務なり

物本末あり、事終始あり、先後す  
る所を知りて國始て統一さる、即  
ち一本より推して治國平天下に及ぶ  
と知るべし

四國は吳佩孚等と舊國會及黎復位  
に因はれ、未だ此二者を超越したる  
天地觀、人生觀に即したる平等境を  
味ふ能はざるか  
登場人物の心を誅せずして何の益  
かあらん(白)

吳佩孚の暴言  
英紙の買取りと  
戰勝に逆上氣味

一週一言  
誅心が先決

支取品  
棉花  
綿布  
綿糸  
生糸

本店 大阪  
支店 東京、橫濱、神戸、  
天津、青島、漢口、  
大連、香港、孟買、  
甲谷、神戶、オース  
トラリア、フオート  
ワリス、シヤトル  
ストラバヤ

江商株式會社  
上海支店

社名合  
店支海上店商木鈴

號三九路江九  
中中中  
三三三  
二二二  
九九九  
二三四五  
番番番番

支店 大阪  
支店 東京、橫濱、神戸、  
天津、青島、漢口、  
大連、香港、孟買、  
甲谷、神戶、オース  
トラリア、フオート  
ワリス、シヤトル  
ストラバヤ

江商株式會社  
上海支店

社名合  
店支海上店商木鈴

號三九路江九  
中中中  
三三三  
二二二  
九九九  
二三四五  
番番番番

支店 大阪  
支店 東京、橫濱、神戸、  
天津、青島、漢口、  
大連、香港、孟買、  
甲谷、神戶、オース  
トラリア、フオート  
ワリス、シヤトル  
ストラバヤ



る氣持を言葉の末に洩す事あり彼を其敗北せる敵にもは寛大に彼の希望達成に盡すものは何人とも彼を共にするものなり吳は政治上の統一や國力増進にも此態度を持す者ぞ信ず吳は勿論到底國を征服すといふが如き幻想の野心を持つものには非ざるべきも彼が東京で云へるは旅順を意味するものにて彼の希望は日本人を支那の領域より外に驅逐せんとするものにて彼の計畫は今迄其にて押し來りしものなり其計畫の下に彼は安福系や張作霖を破りしものなり此事たるや日本勢力の驅逐手段として吳の成功なり日本軍國の足なりし安福系の没落や張作霖の紛糾は侵略者(日本)に對し今後直接に挑戰する事にて其絶頂に至るものにて若し日本の賢明なる施政者が自ら若し那に於ける侵略的態度を變へざれば吳はたゞり任命せられたるものとて之れを實行すべし云々と述べて尙吳氏は滿洲に於ける日本の勢力利權がより以上増大進張する事一層大なるものあれば我等の勝利は徹底的のものとなるべし若し勝れたる場合は寧ろ支那の領土利權等を支那の同情者に與ふべき也余は其時期迄遼陽に歸り兵を練るべく余の部下にて第三師と十一師は新式の軍器と將校あれば優に日本兵に對抗し得べし云々

報をなせる事實に鑑みて其不謹慎なる態度を賤み來り殊に某支那人の如きは今日如斯關係が日に増し改善すべしとある旨日如斯通信を發表するは日支の關係を破壊するものにて吳自身に對しても多大の不利を招くべし要するに吳と日本の間を阻害するものは如斯不謹慎の宣傳者の責任なりと云ふべし云々と談れり

畢竟彼れ吳は戰勝により宇頂天になり

文苑

偶感

太堂

柳絮謝枝春色空。樹陰草綠見天工。朝々殘滴梅黃熟。夜々蒼顏酒氣紅。瓢有人生行樂足。無杯孤影恨何窮。斯文休問靜觀了。大道平々夢亦通。

晚春

前入

一尊桑田仰碧穹。風生麥浪樂無窮。春來春去渾佳興。四海何爲說大同。

戲賦似人

前入

門外逢人說苦衷。惜君時務耳如聾。山高水流有何樂。不脫乾坤落掌中。右に就き二三の重なる外人及支那人識者の意見を徴せしに事の餘りに誇大妄想的なるに嘆嗟し居れり若し吳氏が如斯事を談りたりとすれば國交も自己の立場も顧り又一方此通信員に對しても奉直戰爭以來常に吳の御用と迄も思はるゝが如き通信又は電

而して此論文に就てタイムス社説に於て論じて、支那は彼に依つて再建されん列國は宜し之を援けよと云ひ更に左の如き讀辭を思ふ居れり

彼れ吳佩孚の宇頂天を呈し居りし英國國力は支那の獨裁の可能性に對して注意を拂ふ可き最大なる理由あり支那は悲しむ可き國の狀況に拘り其外國貿易は絶へず増進す道は若し國內の状態回復し交通の改善せらるる時に於ては無限に有望なる擴張を此の希望に堪へざる結果は革命以後日程望みある時期は昔ならざるなり其敗を怖るゝことを知るべき大事實の實行者現はればなり

若し吳佩孚の對勢力が其勇氣と同程度のものならば吾人は彼が其卓越したる人物なることを示しつゝある此大國の迅速なる改革を期待し得べしと云ふものなり(リトル)

内閣改造停頓

總統問題に蔽はれて

端午節後發表さるべしと傳へられたる王士珍内閣は、愈々六月一日總統令出づと云はれたるが、時局は急進して總統問題に入り黎元洪、復任を發せる状態となれるより王内閣の出現は又もや行儀みななれり、元來王士珍は内閣組織、に踏阻逐逐を極めたるものにて王は徐總統が親しく其私邸に來り禮を厚くし、内閣組織を懇請せし爲め愈々出山に決せりと傳へられたるも、王士珍方面と關係深き某政客は其當時談りて、王士珍は端午節後内閣の組織を行ふべしと傳へられしも尙決して樂觀を許さず、王士珍は尙は決して徐總統に

對して内閣組織を承諾し居らず、實は王士珍は此の端午の節句は郷里正定に歸りて迎へん積りなりしが徐總統は此際王士珍に逃げられては大事と王の歸郷の心を窺ひせしめしか故に端午節後王士珍が内閣を組織すこと斷定するは少し早計たるを失はず、王士珍も此時局の重大なる際出山を躊躇して居ることは明白なり

然るに王士珍は二十八日午前七時突然總統府に赴き内閣組織を辭せり、徐總統は極力其の出組を勸説し曩に老友が端午節後内閣組織すべきを引き受けながら、俄かに前約を破りて此の辭をなす予の面目を保つべく是非内閣組織を肯んせられよと云へるが王士珍は到底此の時局困難の際内閣組織の任にあらざるを極言して遂に辭去せりと

斯く王士珍が内閣組織に氣乗りせざれば時局の困難好く紛糾を解く能言を待たざるも、徐總統の位置漸く危きを加へ來れること、徐の好く人を利用して其の位置を築く事にのみ戀々として他人を顧みず、老翁人に過ぐるものあるを看破する者多きを加へ來り徐の將來が愈々暗黒を示し來れる爲めに外ならざりき、然るに今や内閣問題よりも徐世昌の没落な大場合を現出したれば、此處暫らく何れとも形勢の落ち付く迄は内閣は現情の儘なるべく王士珍出山の可否を目して現時局のパロメーターとせられし亦宜なる哉

支時事日誌

五月二十七日(金)

- 獨逸非經濟關係人、ノットマン會議に參加し、獨逸人の天津に赴けるもの三百人、在上海人
- 陳炳勳は徐世昌退任後、通電を發す
- 孫傳芳は徐世昌退任後、通電を發す
- 本日附金令にて王士珍は熱察巡閱使兼熱河都統に任ぜらる
- 香港報業者は給料増加要求のため同盟罷業を開始す
- 本少報記者(東京)王士珍を訪ふ
- 本日閣内にて全員總辭職し全署名を呈せんとす
- 黎元洪復職の意を發せり
- 日本公使は浦陽方面着し不測あれば干渉に遺ふを恐る唯だ浦陽は國際重大の關係あり直ちに通過の處置を行ふ能はば日本は先華府會議上承認する所あらんと宣言せり
- 黎元洪退任に關あり劇烈ならん張は再職の決心ありに似たり吳佩孚は奉軍に注意せし南局の變化を重視せり
- 張學良張作霖吳光新は何れも青島より奉天に赴けり
- 吳景濂王雲五は曹錕の命により三十一日天津に歸へり一日と定めて議員を召集し開會する通電を發し齊聚元の主張に賛成し黎の復任を請はんとす
- 五月三十一日(水)
- 徐世昌辭職通電を發せんとす
- 漢口交際員、前報中に前兵の華人殺傷照會を發す
- 六月一日(水)
- 徐世昌退任の通電を發せり
- 本日午前徐世昌は退任命令を發せり
- 徐世昌は辭職後退任して出京し家族同伴天津に落ち
- 徐世昌退任のため約法五條より國務總理職務の職務を代行す
- 本日閣内にて行政委員會を組織し政府の職務を代行すること、決定す
- 本日外交團會議にて徐世昌退任に關する政變に對し協議すること、決定す
- 六月二日(金)
- 小報公使演說者

營業科目

銅及真鍮板、管、棒、線  
銅鐵管、釘、鋸及鐵線  
各種被覆絕緣電線、電纜  
鑄鋼品、鍛鋼品並諸機械  
鑄山用各種機械器具  
人造肥料並硫酸、硝酸  
石灰

住友會社 上海洋行

上海九江路五號  
支配人室 中四六一九  
營業室 中四六一二  
夜間用 中三五六六  
國扶業海上火災保險株式會社代理店

資本金 壹億圓  
拂込済 六千萬圓  
資本準備 法定準備  
並別當 參千五拾萬圓  
積立金

上海九江路四號

株式會社 三井銀行

支店 長中 一八八六  
支店 室中 一三九〇  
支店 室中 二九〇六  
支店 室中 四二七四

電話 同

本店 東京  
支店 東京 日本橋 小樽  
支店 東京 大塚 大板西  
支店 大阪 大板西 大板東  
支店 神戶 兵庫 高島 下關  
支店 門司 廣島 名古屋  
支店 福門 岡



# 平等の眞諦 (上)

△米國ディレー博士の平等訓▽  
蕭純錦

西本白川著 四六版 五百頁

## 著作権保護コンテンツ

平川清風著 菊版 八百七十頁

### 史的人物と國民性 (三)

#### 耶律楚材の言

▲支那の數千年來積せる弊害は、並み大抵で除去せらるゝのでない、乃て此弊害を除去と得る程度によりて世が治まるか治まらざるかと判定せらる。

▲元の中書令耶律楚材は有名な大人物で、彼は最も支那民族の爲め同情を寄せたが、其同情を寄せたのは彼が全く王道を體認し、支那民族を知つて居たからである。若し彼が居なかつたら元はあれだけ漢人の腹心をしめ得なかつたのであらう、彼が支那民族を心服せしめ、太宗の爲め敢へて直諫することゝな忍らなかつた。こゝは、太宗から「汝又百姓の爲め哭せんと欲するか」と云はれたとある史實に視て明かであらう、此點は日に非なる境遇に在る支那の爲め歴史地理的に關係深き隣國上、將た道を吻會せる困難と、我日、人の大に學ばねばならぬ所である、斯ゝる徳望のあつた耶律楚材が毎に言つたとて史に傳へらるゝ句がある曰く

一利を興すは、一害を除くに如かず

一事を生ずるは、一事を減するに如かず

▲是れ支那の弊害の容易に除去し難き所以と其弊害が一利一事を興し生ずるよりも、先務である所以とが能く窺はるゝのである、然るに徐世昌の最も親任して居る新財政長董康は其財政方針として「富きを患へずして不均を患ふ、各部のストライキ、何んぞ患へん、須らく人事もりも多き知るを要す、罷めざれば入室に充満すべく、一科動ければ四五十人に至る、一事も處理すること能はず、今後の收入は均しく衆に公告し官制に按じて均等に相當し俸給要求圖のホストル、爆彈は我れ亦恐れず、今回は財政掃除の目的なり、將來財政長たるもの、爲め、整理するに便するのみ、余は政治家にあらず、短期間に弊を除くするに在り、利を興すは來者に待つあるのみ」と云つて居る。

▲徳習皆無の徐世昌の下に在つて、御用を勤むる輩は、恐らく耶律楚材を眞似て居るのであらう、言や好しと雖も、耶律の精神を取るこゝが出来ずして型を取り、而かも内實は徐の爲め作金するこゝあつては董の壯言は實に人笑せである。

### 中華皮革廠



營業各種製革  
各種調製靴革  
各種皮貨  
各種皮製用品  
各種皮製器具  
各種皮製鞋類

#### 事務所、工場

上海曹家渡  
電話西一〇〇〇番

#### 販賣所

上海廣東路十九號  
電話中二三七六番

▲資本金 壹千萬圓  
▲本店 北京

▲上海支店 江西路南南京路北入

爲替取組先  
東京、大阪、橫濱、神戸、  
門司、長崎、京城、奉天、  
大連、北京、天津、青島、  
漢口、九江、福州、廈門、  
香港、新嘉坡、孟買、倫敦、  
新加坡、其他支那各地

### 中華匯業銀行

電話(支配人席)中一九四一  
番號(一般營業部)中一九四六

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉強可仕候付御引立の程奉願上候

支那の葉煙草

定價銀二弗五十仙 郵送料二弗十六錢

五、廣東省の煙草

廣東省に於ける南煙は黃煙を産し年額約三百萬斤あり...

六、福建省の煙草

沙縣夏茂地方の煙草栽培法は冬至、小寒、大寒下種...

七、江西省の煙草

江西省は支那葉煙草の産地として夙に聲名高し...

八、湖南省の煙草

湖南省に於ける煙草の産地は柳州、湘潭、邵陽、衡陽...

九、山東省の煙草

山東省に於ける煙草の産地は山東東道沿線に在る...

十、雲南省の煙草

Table with columns for province (e.g., 廣東, 福建, 江西, 湖南, 山東, 雲南), type (e.g., 南煙, 北煙), and price/quantity.

定價銀五弗 郵送料金五十五錢

支那の葉煙草

他を二品として大部分漢口或武昌等へ移出せらるる本省に於ける煙草は...

十一、雲南省の煙草

雲南省に於ける煙草の産地は雲南東部沿線に在る...

十二、四川省の煙草

四川省に於ける煙草の産地は四川東部沿線に在る...

十三、貴州省の煙草

貴州省に於ける煙草の産地は貴州東部沿線に在る...

十四、廣西省の煙草

廣西省に於ける煙草の産地は廣西東部沿線に在る...

十五、河南省の煙草

除草及心止并に病蟲豫防の法を講ず。九月下旬より十月月上旬迄切取。乾燥法。...

Advertisement for 'Lu Bi He Sa' (ルビヒサ) featuring a sunburst logo and listing various products like '廉價販賣', '美谷化粧品各種', '品質精撰', '醫療用器械', '治療用藥劑', '工業用藥品', '玻璃藥瓶各種', '諸大家賣藥各種'.





社

修改稅則委員會

第三次會議 修改稅則委員會已在前次會議中...

國是會議

第一次大會

中華民國八團體國是會議是去月廿一日...

薩鎮冰的報告

海軍總司令薩鎮冰於去月二十九日海軍...

海道測量權回收

支那各港口的測量事務是從來海關的...

魯案善後

銀行公會及山鐵公司組織學界之游行宣傳...

清海局存置

海軍總司令蔣拯是前在浙江省海面...

澳門事件

葡兵華人統殺事件警報傳得是粵商...

各工團聯席會議

上海各工團是前日聯席會議開會...

軍艦的參戰準備

海軍總司令公署是前日海軍部...

滬書燒燬

上海書業是今回正心團決是依...

滬書燒燬

上海書業是今回正心團決是依...

郵便局之新規則

上海郵務管理局是六月一日等...

滬書燒燬

上海書業是今回正心團決是依...

滬書燒燬

上海書業是今回正心團決是依...

滬書燒燬

上海書業是今回正心團決是依...

Advertisement for '堀井膽寫堂' (Horiwaidan) featuring various stationery and printing services.

Advertisement for 'EI-KWA & CO.' and '瀛華洋行' (Yinghua) featuring fertilizer and general goods.





Table with columns for '品名' (Product Name), '仕向地' (Destination), '担' (Unit), and '数量' (Quantity). Lists various goods like wool, cotton, and woolen goods with their respective origins and quantities.

新刊紹介 基督教と支那

滬上様客

Main article text discussing the relationship between Christianity and China, mentioning various church activities and the role of missionaries in the region.

沿海商稅廢止 意見書. A public opinion piece regarding the abolition of taxes on goods along the coast, discussing the impact on trade and local businesses.

Advertisement for '伊藤商行' (Ito Kaisha) featuring a logo with the letter 'G' and listing various types of goods and services they offer.

Advertisement for '日本綿花株式會社' (Nippon Cotton Co., Ltd.) and '中國工商株式會社' (China Industrial Co., Ltd.), detailing their capital, business scope, and branch locations.



銅元問題

銅元問題はナカ火の手盛んにて如何なる方法を以て適當の解決を得るや豫測すべからず左に各團の活動を一束とすべし

金融市況

自六月二日上海の金融及外國爲替
銅元問題と沈知事 上海縣沈知事は目下上海は銅貨充滿し洋價日高

Table with columns for exchange rates and prices. Includes sections for '上海稅關各國貨幣換算率' and '公人私人'.

往昔英國では懲罰を犯罪として之を罰してゐた、即ち 裁判所の場所に犯罪者日氏名、生年月日、場所其他將來と成るべき事項を記載するに烙印を押す

東亞興業株式會社 上海出張所
資本金 貳千萬圓
各種事業ノ調査設計 及引受各種事業ニ對スル直接間接投資

日華紡織株式會社
諸藥品、織機 絹綿布、雜貨 出入貿易
事務所 = 上海四川路五五號

# 日清汽船株式會社

**上海出帆**

襄陽丸 郵船棧橋ヨリ發  
岳陽丸 郵船棧橋ヨリ發  
南陽丸 浦東棧橋ヨリ發  
大福丸 浦東棧橋ヨリ發  
大真丸 浦東棧橋ヨリ發

輸出宿直 四七五  
船客入庶務 一三三五  
電話 三三三九

**上海支店**

上海 黃浦灘

電話 浦東棧橋 四七四  
電話 監督 一八七四

漢口宜昌線 一ヶ月六回  
漢口湘潭線 一週二回  
漢口常德線 一週二回  
九江南昌線 一週三回



朝鮮總督府 賣買局所管

●使用に至便  
●携帶に至便

●人參精粹

**高麗参丸**

(大物質)

●本劑は朝鮮人參のエキスを末を混和調製せり

●其形細粒然も効力頗る強大

事務家、旅行者、日常の携帶、使用に良し

大瓶 百粒入(六日分) 大洋七角  
小瓶 五十粒入(三日分) 大洋四角

▲到る處の有名藥店に販賣す▼

## 東亞聯絡最捷交通線

**○大連長春間普通列車**

大連發前 一〇、三〇、翌前六、二〇 長春着  
長春發前 一、四〇、翌前六、四〇 大連着

**○大連開原間普通列車**

大連發前 八、二〇、翌前二、〇〇 開原着  
開原發前 八、〇〇、翌前二、〇〇 大連着

**○大石橋長春間普通列車**

大石橋發前 七、四五、翌前九、二五 長春着  
長春發前 七、三〇、翌前九、〇〇 大石橋着

**○奉天安東間普通列車**

奉天發前 九、二〇、翌前五、四〇 安東着  
安東發前 一、九〇、翌前六、〇〇 奉天着

**○大連長春間急行列車**

大連發前 一、〇〇、翌前二、〇〇 長春着  
長春發前 五、〇〇、翌前八、〇〇 大連着

**○滿鮮直通列車(釜山奉天間)**

釜山發前 一、二〇、翌前八、五〇 奉天着(翌前六、〇〇)  
奉天發前 八、三〇、翌前四、四〇 釜山着(翌前五、四〇)

**○鐵道旅館**

滿洲線 大和ホテル  
大連、星ヶ浦、旅順、奉天、長春  
朝鮮線 京城、新義洲、釜山  
(設備歐米式食物精進)

**○大連上海航路**

御用船 長平丸 三、八七六 船内無線電信設備アリ  
往復共青島三寄港ス

**○營業種目**

鐵道業、船舶業、港灣業、鑛山業、工業、製鐵業、電氣業、瓦斯業、旅館業

**南滿洲鐵道株式會社**

本社 大連市東公園町  
支社 東京市總町區有樂町  
支店及出張所 紐育、上海、北京、哈爾濱、吉林  
振替貯金 大連(二一九番)  
電報、略、號(シヤン)

消化と仁丹

活動に仁丹 元氣旺盛  
食後に仁丹 胃腸健壯  
煙草に仁丹 一、氣味

最も大なる勤勉の後にも最も大なる快楽あり 西談

**營業種目**

紡績器械類專門  
其他一般鐵工業

**株式會社 公興鐵廠**

第一工場 上海楊樹浦路三二七二號  
電話東一五八番  
第二工場 上海船朋路七〇〇號  
電話東四二八番

營業(浙江產鑛石探掘販賣) 科目一般輸出入業

上海四川路A百二十八號

**辛酉公司**

電話中三三三二  
電話西一八二七

工場(上海支路千三百十五號)

**和洋家具類**  
室內裝飾品類  
書畫骨董類  
諸物貨買賣仲次  
電機器具及工事

右十數年の經驗自信に依り大方の貴客に應ず

上海銀行路廿一及廿二號

**上海便利社**

**營業種目**

綿織物及ビ綿糸製造  
販賣其他之ニ附帶スル事業

**東華紡績株式會社**

事務所 上海漢口路A九號  
工場 上海華德路八八號  
電話東三五四番

本紙定價(前金)

一部 銀十五仙  
金二十錢  
一ヶ月四部 銀六十仙  
金八十錢  
半年廿六部 銀三十三仙  
金四十五錢  
一年五十二部 銀六十六仙  
金九十錢

本紙掲載廣告の料金は行數の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候御用の方は端書又は(電話三三〇三)にて御一顧被下度候

**廣告料**

上海崑山路A八號  
私書函甲第一三六號  
編輯兼 發行所 西本省三  
上海海寧路拾四號  
印刷人 蘆澤多美次  
電話北二二〇三

發行所 **春申社**

振替口座福岡四七〇五番  
電話北二二〇三

**國產獎勵**

●島 貳拾三仙  
●朝 拾三仙  
●白 壹拾八拾五仙  
●梅 八拾四仙  
●サツキ 六拾五仙  
●アヤマ 五拾六仙  
●四〇号入 壹拾七拾三仙  
●四〇号入 壹拾七拾三仙  
●ライトハウス 二十本

**東亞煙公司**

電話北一〇五二番

特約店 **松尾洋行**  
電話北三〇五三番

山口商店  
電話北四九五番